

RENKEI

レンケイ：日英産学連携プログラム



Japan-UK Research and Education Network for Knowledge Economy Initiatives
www.britishcouncil.jp/programmes/higher-education/university-industry-partnership/renkei
(ブリティッシュ・カウンシル)

2012年、日英の研究型大学が、経済と社会との連携体制をより強化させることを目指し設立。共同研究、知識移転、人材育成の分野で、産業界との連携強化を図り、未来の社会のリーダー、イノベーターとなる高度な人材を輩出する仕組みをつくることを目的とし、さまざまなワーキンググループを展開。

日英メンバー 12 大学

京都大学、大阪大学、九州大学、東北大学、名古屋大学、立命館大学
サウサンプトン大学、ニューカッスル大学、プリストル大学、ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン (UCL)、リーズ大学、リバプール大学

参加プログラム等

研究者 研究シンポジウム

学生 日英両国で開催される、スプリング、サマー、ウインタースクール他

2013年にRENKEIの初のプロジェクトとして、京都大学、プリストル大学主催により開催した、RENKEI Researcher Development School in Bristol and Kyoto 2013は、英国における若手研究者育成に対する顕彰としては最も評価の高い、Times Higher Education Outstanding Support for Early Career Researchers 賞のファイナリストに選考された。



ロンドンでの授賞式で紹介される京都大学でのプログラムの一部



ウインタースクールでのグループディスカッション

USJI

ユー エス ジェイ アイ：日米研究インスティテュート



U.S.-Japan Research Institute
www.us-jpri.org

2009年、日本の大学が連携して運営する米国 NPO 法人としてワシントン DC に設立。学術基盤をもとに政策提言型の研究を行い、セミナー等で戦略的に情報発信する最先端研究拠点として、「研究活動」「人材育成」「コミュニティ形成」の各種プログラムを実施している。

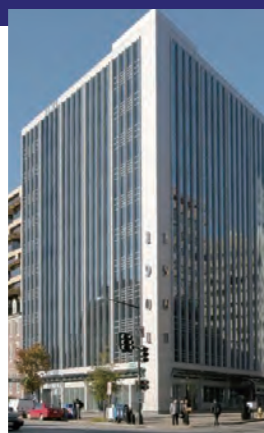
連携運営メンバー 9 大学

京都大学、九州大学、慶應義塾大学、上智大学、筑波大学、東京大学、同志社大学、立命館大学、早稲田大学

参加プログラム等

研究者 ワシントン DC で年 2 回の研究イベント (USJI Week)

学生 米国での学生研修プログラムへの派遣 (KAKEHASHI, TOMODACHI 他)



オフィスのあるビル (ワシントン DC)



USJI Week でレクチャーを行う森国際交流推進機構長 (ワシントン DC)



公開シンポジウム (京都)

HeKKSaGOn

ヘキサゴン：日独 6 大学コンソーシアム



German-Japanese Universities Alliance
www.hekksagon.net

2010年、日独の計6大学が、両国の科学と知識の進歩向上を目指す学術交流を目的として設立。日独 6 大学学長会議、研究セッション、博士課程学生サマースクール等を開催。HeKKSaGOn とは、6 大学が所在する都市 (Heidelberg, Kyoto, Karlsruhe, Sendai, Göttingen, Osaka) の頭文字等をとっている。本学は日本側幹事校として、ドイツ側幹事校ハイデルベルク大学との調整役を務め、2012 年には第 2 回日独 6 大学学長会議を京都で主催した。

日独メンバー 6 大学

京都大学、大阪大学、東北大学
ハイデルベルク大学、ゲッチンゲン大学、カールスルーエ工科大学

参加プログラム等

研究者 ワーキンググループによる研究セッション (学長会議同時開催)

2013年9月 第3回ゲッチンゲン大学
2015年4月 第4回東北大学
次回はカールスルーエ工科大学で開催予定

学生

博士課程学生サマースクール
2014年9月 カールスルーエ工科大学
博士課程学生 3 名参加、教員 2 名が講師として参加
次回はゲッチンゲン大学で開催予定



山極総長とハイデルベルク大学学長との会談

ハイデルベルク大学との連携

2013年、本学の海外拠点の1つ、欧州拠点ハイデルベルクオフィスはハイデルベルク大学内に開所。2015年には本学内にハイデルベルク大学のサテライトオフィスが開所。双方がスタッフを現地に派遣し、今後も研究・教育の連携を強めていく。研究セッション、学生用スクール、共催シンポジウムなどを実施予定。



ハイデルベルク大学構内、京大のオフィスが入る校舎



ハイデルベルク大学のウインタースクール
photo: Universität Heidelberg

世界の大学との連携

京都大学の海外拠点、交流協定、交流協定による研究者交流、海外の大学との共催シンポジウム等についての情報はこちらでご案内しています。

Kyoto University: Global Engagement
www.oc.kyoto-u.ac.jp

2015年 3月

編集・発行 京都大学 国際企画課
住所：〒606-8501 京都市左京区吉田本町
TEL: 075-753-2010
E-mail: ipromo[at]mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
Website: www.oc.kyoto-u.ac.jp/network

研究者、大学院生、学部生のみなさんへ



京都大学の 大学間国際ネットワーク による国際プログラムへの参加支援のご案内

APRU 環太平洋

AEARU 東アジア

ASEAN+3 UNet

東南アジア諸国連合+日中韓



日独 HeKKSaGOn

日英 RENKEI

日米 USJI

本学の国際戦略「2x by 2020」の一環として 大学間国際ネットワーク事業への参加者募集・渡航支援をしています

世界各地で研究シンポジウムや学生プログラムなどが開催され、京都大学からも毎年多くの研究者や学生が参加しています。特に若手研究者や学生の参加を促進するために、各主催大学が財政支援をしているプログラムもあります。大学間国際ネットワークは国際企画課が窓口となり、随時、ホームページ等にイベント紹介・参加募集案内、渡航費等支援情報を掲載しています。

さらに詳しくは、WEBで！ www.oc.kyoto-u.ac.jp/network

APRU

アプル：環太平洋大学協会



Association of Pacific Rim Universities
www.apru.org

1997年発足。環太平洋地域の16カ国・地域の主要研究型大学45校が加盟する国際大学連合。環太平洋地域にとって重要な諸問題に対し、研究・教育の分野で協力・貢献することを目的とする。APEC（アジア太平洋経済協力会議）閣僚会議2012の共同声明において、域内の学生・研究者の交流の促進に重要な役割を果たす組織とされている。京都大学は2009年から日本を代表し4年間APRU理事を務めた。

加盟45大学

米国12校（カリフォルニア工科大学他）、オーストラリア4校（オーストラリア国立大学他）、カナダ1校（ブリティッシュコロンビア大学）、チリ1校（チリ大学）、中国8校（復旦大学他）、台湾1校（国立台湾大学）、インドネシア1校（インドネシア大学）、日本6校、韓国3校（高麗大学他）、マレーシア1校（マラヤ大学）、メキシコ2校（メキシコ国立大学他）、ニュージーランド1校（オークランド大学）、フィリピン1校（フィリピン大学）、ロシア1校（極東連邦大学）、シンガポール1校（シンガポール国立大学）

参加プログラム等

研究者・院生対象

Chief Information Officers Forum & Education and Research Technology Forum
Research Symposium on University Museums
Asia-Pacific Women in Leadership (APWIL) Workshop



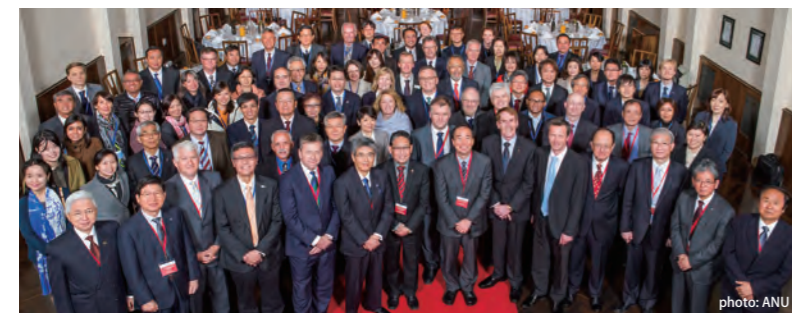
APWIL ワークショップ（京大東京オフィス）

学生対象

Multi-Hazards Summer School
Undergraduate Summer Program
Doctoral Students Conference



博物館シンポでのポスターセッション（国立台湾大学）



学長会議は大学のトップ同士の対話の場（2014 オーストラリア国立大学）

AEARU

アイール：東アジア研究型大学協会



The Association of East Asian Research Universities
www.aearu.org

1996年発足。東アジア5地域（中国、香港、台湾、韓国、日本）の18の研究型大学が加盟する国際大学連合。教育目標および学術研究・開発において共通の関心を持つ研究型大学を結集し、研究者・学生の交流、共同研究プロジェクトの推進、ワークショップの開催など、相互の関心に基づく協力を行うことを目的としている。京都大学は2004年から8年間理事、2008年から2年間議長および事務局を務めた。

加盟18大学

復旦大学、南京大學、北京大學、清華大學（北京）、中国科学技術大學、香港科技大學、国立台湾大學、清華大學（新竹）、韓国科学技術院、浦項工科大学、ソウル大学、延世大学、京都大学、大阪大学、東北大学、東京工業大学、東京大学、筑波大学

参加プログラム等

研究者対象

Workshop on Computer Science and Web Technology
Symposium on Teaching and Learning in East Asian Research Universities

学生対象

Student Summer Camp

参加者の声

各国からの参加者はとても勉強家で刺激になりました。留学等の海外経験をしたことがない私にとって、日本という枠を超えた交流はとても貴重な経験となり、思い切って参加して本当によかったと思っています。

法学部 尾笹 由佳



サマーキャンプ2014（大阪大学）

ASEAN+3UNet

アセアン プラス スリー ユーネット



AUN (ASEAN University Network), ASEAN+3UNet (ASEAN+3 University Network)
www.aunsec.org

AUNは、1992年にASEANサミットで提案され1995年に発足した国際大学連合。世界各地域と学生交流、研究者交流や共同研究を実施し、地域内の人材育成の開発に取り組んでいる（ASEAN加盟国30大学加盟）。本学とAUNは2009年に学術交流協定を締結し、協力して活動を展開している。ASEAN+3 UNetは、AUNを核として日本、中国、韓国の3カ国の10大学を加えたネットワークで、本学を含む36大学が加盟。

参加プログラム等

運営・研究者

ASEAN+3 Rectors' Conference

学生対象

AUN and ASEAN+3 Educational Forum and Young Speakers' Contest (学部生)



学生フォーラム&スピーチコンテスト（マレーシア国民大学）

参加者の声

スピーチコンテストやフォーラムはもちろん、それ以外の時間でも各国の学生と有意義な交流ができ、本当に素晴らしい経験になりました。プログラムを通して得た一番大きな教訓は、国際舞台での経験値の重要性です。

経済学部 大矢 隆紀



非常に濃密な時間を過ごし、沢山刺激を受けてきました。開催大学の学生がバディとして各国代表の生活をサポートしてくれ、楽しい時間も過ごせました。

経済学部 佐藤 隆太郎



国際企画課スタッフからのご案内

私たち国際企画課のスタッフは、大学間国際ネットワークの各事業への京都大学からの参加者に対する各種支援を行っています。京都大学のみならず国際的ネットワークづくりや研究の発展につながるようお手伝いしていきますので、参加募集があった際にはぜひご応募ください。大学間国際ネットワークのWEBサイト：www.oc.kyoto-u.ac.jp/network

【参加できるプログラムとメリット】

世界を代表する加盟大学間での交流が学生レベル、研究者レベル、教職員レベル、研究科長レベル、学長レベルの各層で行われており、共同研究の促進をはじめ、学生が研究者として世界へ飛び立つ機会ともなっています。

【研究者、院生対象】リサーチシンポジウム、ワークショップ

バックグラウンドの異なる研究者が同一課題の解決に向け結集
分野を超えた最先端の情報収集とネットワークづくり
世界へ向けて研究成果を発表する場

【学部生、院生対象】サマーキャンプ、学生会議、スピーチコンテスト

世界トップレベルの学生との共同生活、テーマに基づく討論や文化交流を行う特に人気の高いプログラム
海外留学へのきっかけづくり、留学後のステップアップ、国際対応力強化、ネットワークづくり

